

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【公開番号】特開 2011-44616 (P2011-44616A)
 【公開日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-009
 【出願番号】特願 2009-192592 (P2009-192592)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/60 (2006.01)

H 0 1 L 23/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/92 6 0 4 H

H 0 1 L 23/12 5 0 1 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

導電性ボールを基板の所定位置に搭載するために、前記導電性ボールを挿通可能な複数の開口部が前記基板に応じた所定の配列パターンで配置され、前記開口部の上端周縁に、高さ方向よりも水平方向の距離が長く設定されたスローブ状のボール誘導部が形成された導電性ボール配列用マスクの製造方法であって、

母型の表面に、前記開口部に対応するレジスト体を有するパターンレジストを設けるパターンニング工程と、

前記パターンレジストを用いて前記母型上に電着金属を電鍍し、電着層を形成する電鍍工程と、

前記レジスト体を除去し、前記開口部が形成されるレジスト除去工程と、

前記開口部の母型側周縁にスローブ状のボール誘導部を形成する電解研磨工程と、
 を有することを特徴とする配列用マスクの製造方法。

【請求項 2】

導電性ボールを基板の所定位置に搭載するために、前記導電性ボールを挿通可能な複数の開口部が前記基板に応じた所定の配列パターンで配置された導電性ボール配列用マスクであって、

前記開口部の上端周縁に、高さ方向よりも水平方向の距離が長く設定されたスローブ状のボール誘導部が形成されていることを特徴とする導電性ボール配列用マスク。